



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

テーマ 「春の花に来る虫を見よう」

日時 2016年4月10日(日)9:30-12:00 晴

参加者 一般：5名（うち子ども3名）、指導員：4名

桜の花は満開を過ぎましたが、タンポポをはじめいろいろな春の花が咲いています。花には蜜を求めて虫が集まってくるので、今日のテーマはそうした虫探しです。

出発してしばらくはまだ気温が上がっていないのか、蝶の飛び姿はありませんでしたが、川原に降りた頃にはタンポポの咲いている上をモンシロチョウなどが飛び始めました。参加している子ども3人が蝶を追いかけて捕虫網を振り、モンキチョウ、モンシロチョウ、キタキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ツバメシジミを捕まえて見せてくれました。

大野極楽寺公園では、この時機だけ成虫が出現するツマキチョウを捕獲して見ることができ、テングチョウやナミアゲハも飛んでいました。

花はタンポポの黄色が目立ちましたが、堤防の斜面にはスミレが群生していました。スミレに似たヒメスミレや白花のアリアケスミレ、ニョイスミレも見ることができました。

また、よく似たマツバウンランとオオマツバウンランの花の違いを比べて見ることもできました。

さて、前回高水敷に生えていた小さな黄色い花を付けたアブラナ科の植物をケナシイヌナズナと紹介しましたが、果実の表面をルーペで拡大してみると短な毛が生えていました。ケナシイヌナズナではなくイヌナズナに訂正します。

(観察会のようす)



(報告：齋竹)

<その他観察できたもの>

昆虫：ナナホシテントウ、セイヨウミツバチ、

鳥：トビ、キジバト、ヒヨドリ、ムクドリ、ダイサギ、ツグミ、ハクセキレイ、ウグイス（囀り）、ヒバリ（囀り）、ツバメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、モズ、コゲラ、メジロ、ホオジロ、シメ、カワラヒワ、スズメ

花：ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、ハルジオン、コウゾリナ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、キランソウ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、ムラサキサギゴケ、オランダミミナグサ、コハコベ、ノミノツヅリ、セントウソウ、キュウリグサ、ヘビイチゴ、ハナズオウ、ベニバナトキワマンサク、ヤブツバキ



(ツバメシジミ)



(キタキチョウ)



(ツマキチョウ)